



「反抗」について

「0～3歳 能力を育てる 好奇心を引き出す」
汐見稔幸 著 主婦の友社 より抜粋

毎日、毎日、「イヤ!」「イヤ!」

2歳前後になると、いったんつむじを曲げると何を言っても「イヤ」、「イヤ」の連発が始まります。

「パジャマに着かえようね」「イヤ」、「じゃあ、そのまま寝るの?」「イヤッ」、「どうするのよ、いったい!」「イヤーッ」というぐあいです。英語ではそのため、2歳児をテリブルトゥー (terrible two)、恐るべき2歳児というくらいです。

反抗には個人差があり、盛んに反抗するのは、いわゆるマイペース型の子です。人とかかわるより、自分で何かしたいという気持ちが強く、好ききらいがはっきりしているのが特徴ですから、頭の中にお母さんと同じ生活の時計があるわけではないことを、なにかにつけて強く主張します。これが反抗となってあらわれるのです。

なぜ反抗が起こるのだろう

反抗はいろいろな要素がからみ合って起こりますが、大別すると4つのタイプが考えられます。

その1つは、子どもに予測する力がついてきたことと関係があります。自分の気に入ったことをしたいので、お母さんが「さあ、ごはんだからおうちに帰ろうね」と言っても、「こんなに楽しんで遊んでいるのに。もっと遊んでいた。おうちに帰りたくない」という気持ちになるのです。

2つ目はちょうど自我が急成長するころなので、自己主張の最盛期になること。手先も多少器用になって、靴をはくとか、はさみで切るとか、いろいろなことができるようになりますから、自分の能力を使ってみたくてしかたがないのです。でも、まだへたなのでなかなかうまくいかず、イライラしているのに、お母さんが気づかず、いままでと同じように赤ちゃん扱いをしていると、子どもはプライドを傷つけられて反抗的になります。

3つ目は心の基地ができていない子の反抗です。親子の間に基本的信頼感がしっかり形成されていないため、対人関係に不安があって、自分にやさしくしてくれる人には極度に甘えますが、敵対関係にあると思った人には反抗的な態度をとります。

4つ目はそんなにはっきりとは説明のつかない反抗の場合です。早くおしゃべりができるようになって「よい子」にさせられてきた子が、2歳半を過ぎたころから急に反抗的な態度をとるようになった場合、「もう親の言いなりにはならないぞ、自分がやりたいことをやるんだから」という宣言を、幼い方法で表現することもあります。

反抗にはどう対応したらいい?

子どもが反抗的になっているときに、それを無視して親の言うことを聞かせようとするのは、最もまずい対応です。子どもはますます反抗的になって、それこそ收拾がつかなくなります。

反抗は子どもの心が成長したしるしと、おおらかに受けとってやるのがいちばんいいのですが、いつも時間に追われている親としては、そうそう子どもの要求を認めてばかりはいられませんね。

2歳児を扱い慣れた保育園の保育士さんは、散歩に行くとき、「お散歩に行くから、おしっこに行ってらっしゃい」とは言いません。反抗期を迎えた子どもたちから「おしっこなんて出ないもん」「おしっこ行かなきゃいけないんなら、お散歩行かない」と言われるに決まっているからです。そこで、

「あの公園にね、ヤギさんがいたんだよ。見たいねえ。みんなどうかなあ」

「えっ、行きたい」「ヤギさん、見たーい」「あっ、おしっこ行ったかな」

「まだ」「先生、待ってて」「行ってくる」
というように対応するそうです。うまくノセるといったらいいでしょうか。

子どもは楽しみが待っていると、その前の障害を乗り越えることができます。何かさせようとしたら、子どもに期待を持たせてやる必要があります。



反抗が目立たない子は?

反抗が目立たない子には二とおりあります。一つは親がじょうずに対応していて、反抗がほとんど目立たない場合。全く問題ありません。

しかしもう一つのケースは問題です。お母さんの期待に添った行動をするいわゆる「いい子」は、小さいうちは確かに育てやすいですが、しだいに「自分という自我」と「周囲の期待に添わなくてはならない自我」の葛藤に悩むようになります。よく「小さいころはいい子だったのに……」という相談がありますが、こういう子は思春期になってから問題行動が目立つようになります。

もし自我の形成がおくれているために反抗しないのであれば、これまでの育児をふり返ってみてください。小さければ小さいほど立ち直りは早く、傷も小さいのですから。子どものあるがままの姿を認め、子どもの一歩後ろからついていくという気持ちを失わないで、育児を見直してください。

お正月の伝統遊び

羽根つき

羽根の玉に使われている黒い玉は『無患子』という木の実で、子どもの無病息災を願う縁起物です。更に羽根を羽子板でこんこんと打つ音は、邪気を祓うといわれ、羽根つきは子どもを病気から守る遊びとされています。



かるた・百人一首

読み札と取り札があり、歌やことわざに見合うカードをたくさん取った人が勝ちとする遊びです。もとはボルトガル語からきた言葉ですが、江戸時代にはお正月の遊びとして定着し、百人一首・いろはかるた・花札などが誕生しました。

福笑い

目隠しをして、おたふくの顔の上に目や鼻などの顔のパーツを置き、完成した面白い表情で笑う遊びです。『笑う門には福来たる』ということわざのように、新年の福を願ってみんなで楽しめます。

たこ揚げ

昔から、立春の頃に空を見上げることは良いことだとされています。子どもが元気に育つようにと願いを込めて、江戸時代に新年の遊びとして定着していました。



子育て悩みやご相談
は、電話・メール・面談など
何でもOKです。ちょっとしたこと
でも結構ですのでお気軽にどうぞ…

電話
042-555-5780
メール
info@sunshine.ed.jp



今月のイベント



保育所・離乳食体験

はじめての一步
チケット利用可

離乳食の進めかたについて、保護者の方に試食をしていただきながら説明をしていきます。また、保育園での食事を含めた生活の様子もご覧いただけます。その後、保育園の給食を食べながら、育児・離乳食に関わる疑問・相談に当園の保育士・栄養士がお答していきます。

日 時 1/12(木) 11:15 ~ 12:30
人 数 各月2組(先着順・初めての方優先)
場 所 太陽の子保育園ホール
対 象 0歳児の親子の方
参加費 300円(保護者の方の給食代)
持ち物 箸とコップ(大人)
□拭きタオル(こども)
申込み 保育園までお越しください。



ベビーマッサージ あおぞら保育園

ベビーボンディング(ベビーマッサージ)で、赤ちゃん・お母さんともにリフレッシュ!!

日 時 1/10(火) 10:00 ~ 11:30
対 象 生後2カ月~12カ月の親子
募 集 毎回5組
会 場 あおぞら保育園1階ホール
持ち物 バスタオル1枚・汚れてもいい
タオル等・水分補給用の飲み物
服 装 普段着でどうぞ
料 金 無料(使用するオイルは実費にて販売)
講 師 0歳児クラス担当保育士



国際ボンディング協会
ベビーボンディングケアスペシャリスト取得
申込み あおぞら保育園まで予約のお電話をください
042-554-2154

おおきくなったかな?

身長・体重を測りにきませんか?

日時: 1/16(月) 9:45 ~ 11:15
場所: 保育園ホール
対象: 0・1歳児のお子様

